

「IB地域啓発セミナー in 滋賀」アンケート

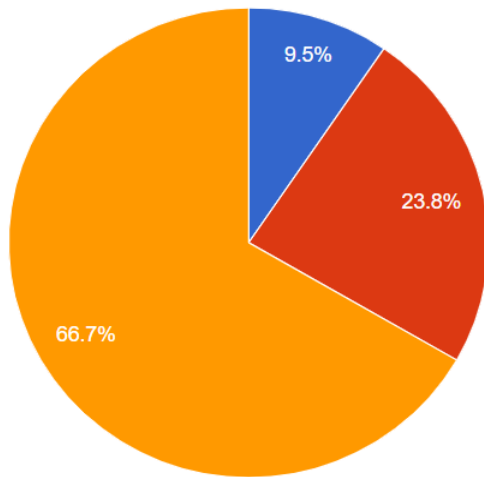
2020/9/27

集計情報

有効回答数

21

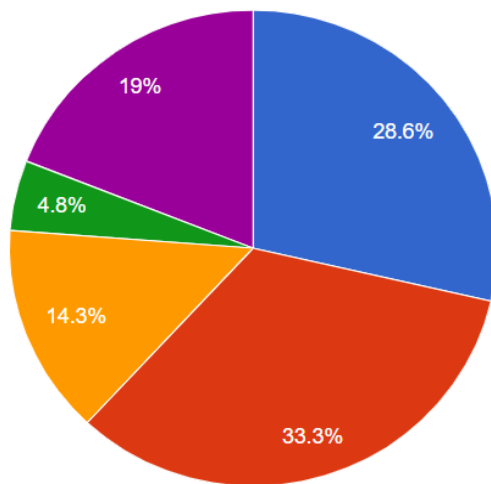
[1] 国際バカロレアセミナーおよびIB地域啓発セミナーのいずれか、または両方参加されたものを選択ください。



- 国際バカロレアセミナー (13:30-) のみ参加
- IB地域啓発セミナー滋賀 (15:00-) のみ参加
- 国際バカロレア・IB地域啓発セミナー両方参加

	回答	投票数	投票率
1	国際バカロレアセミナー (13:30-) のみ参加	2	9.5%
2	IB地域啓発セミナー滋賀 (15:00-) のみ参加	5	23.8%
3	国際バカロレア・IB地域啓発セミナー両方参加	14	66.7%

[2] ご所属を教えてください。

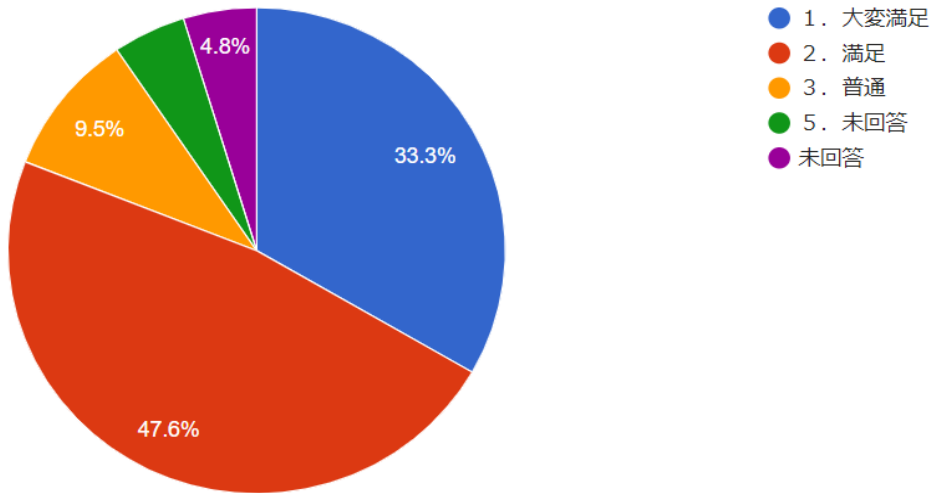


- 1. 学校教員
- 2. 教育関係者
- 3. 保護者・一般
- 4. 中学3年生
- その他

	回答	投票数	投票率
1	1. 学校教員	6	28.6%
2	2. 教育関係者	7	33.3%
3	3. 保護者・一般	3	14.3%
4	4. 中学3年生	1	4.8%
5	5. その他	4	19%

[9] セッション1：国際バカロレアの推進について（コンソーシアム事務局）

ダ

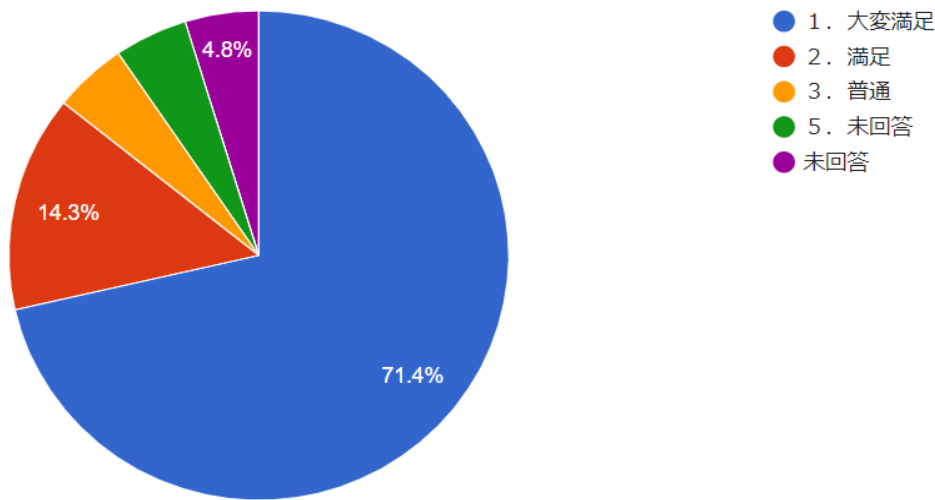


	回答	投票数	投票率
1	1. 大変満足	7	33.3%
2	2. 満足	10	47.6%
3	3. 普通	2	9.5%
4	4. 5. 未回答	1	4.8%
5	5. 未回答	1	4.8%

[10] 上記選択した理由をお聞かせください。

- ・ コンソーシアムのウェブサイトで購入可能な情報など、細やかな説明があり有益だった。
説明の中で、バカロレアが、グローバル人材に求められるコンピテンシーの育成に資するといった説明があったが、文科省が「グローバル人材」をどう語り、日本の未来をどう見据えているのか、その部分をもう一步踏みみ込んで聞きたかった。
- ・ 具体的で分かり易かった
- ・ 全体的な流れを確認できました。IBの良さやニーズについて、理解をさらに深めることができました。
- ・ IBについて、PYPからの系統性も含め、もうすこし詳しくお話を伺いたかった。
- ・ スライドの文字が小さかったことだけが残念でした。

[11] セッション 2：「IBで育つ生徒とは？DP編（事例共有）」（大阪市立水都国際中学校高等学校熊谷 優一

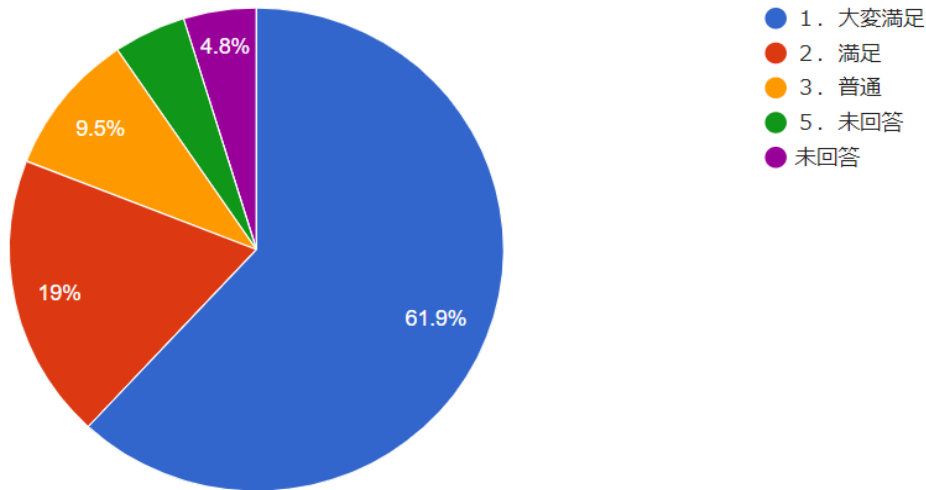


	回答	投票数	投票率
1	1. 大変満足	15	71.4%
2	2. 満足	3	14.3%
3	3. 普通	1	4.8%
4	5. 未回答	1	4.8%
5	未回答	1	4.8%

[12] 上記選択した理由をお聞かせください。

- ・ DPを広げるために重要なこと(MYPがもっと増えて欲しい)、DPの良い意味の特異性(※) がとても分かりやすかったためです。
(※問題を例示していただき生徒・先生側ともに求められる水準の高さを体感できたこと、評価の在り方、問題文を読めていない生徒、知的体力づくり、英語を習うのではなく使いこなす・そのためには先生の英語力が必要その他多数)
- ・ 説明がわかりやすく、日本の学校や教員の課題についてもはっきりと言ってくださった。
- ・ 発表時間がコンパクトな中、カリキュラム策定の上流から下流までわかりやすく構成されていて、理解がスムーズだった。
(余談 セッション中に過去問をからめた会場への問いかけをされていたが、これが絶妙で、セミナー終了後も考察が続いています)
- ・ IB試験の内容を見て、日本の高校では難しいなと感じました。IBで育てる生徒像がよくわかりました。
- ・ DPの数学の先生になりたいと思っているのでとてもよい学びになった。
- ・ IBが目指す教育の一端にふれさせていただき、感動しました。
- ・ 現場にいらっしゃる先生ならではの視点で、現場の状況やご苦労、生徒の様子がよく分かるご説明でした。

[13]セッション 3：「IBで育つ生徒とは？MYP編（事例共有）」...（市立札幌開成中等教育学校 大西洋氏）



	回答	投票数	投票率
1	1. 大変満足	13	61.9%
2	2. 満足	4	19%
3	3. 普通	2	9.5%
4	5. 未回答	1	4.8%
5	未回答	1	4.8%

[14] 上記選択した理由をお聞かせください。

- ・地図の例や概念についてのお話、具体的事例で、学び方や物事の解決の仕方を学ぶ生徒の皆さまの様子とその準備に必要な先生方の工夫などがまざまざと感じられたことからです。ありがとうございました。
- ・教室レベルでの取組について、具体的な事例が聞けてよかった（放置自転車の事例）。
- ・各教科の授業事例がわかりやすかった。
- ・具体的な授業事例をお示しいただいたことで、新学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力の実現に向けた授業改善について手がかりをいただけた。
- ・MYPの学びがどういうものなのか学ぶことができた。将来的にはDPもPYPも教えられる教員を目指したい。
- ・IBの求める学びの中で、素晴らしい学習をされている生徒さんのお話を伺えました。
- ・より早く（年少より）関わりがあるのは良いと思った
- ・現場にいらっしゃる先生ならではの視点で、生徒がどんな学びを経験しているかがよく伝わりました。
- ・映像にも関わらず、聞き手を引き込む話口調は大変参考になりました。

[15]全体の感想、今後コンソーシアムに実施して欲しいイベント等（具体的な要望等）

- ・ DPやMYPを導入していない学校の先生向けのワークショップ
 - ・ 議員向け(市町・都道府県一緒に)の研修・研究会など
 - ・ 指導内容に踏み込んだもの。TOK2022の変更点。
 - ・ 教育者側のIBの説明も良いが、日本でのIB校卒業生も出てきているので、生徒の経験を生徒の目線で発表して欲しい。
 - ・ 熊谷先生の「IB、イエナ、ドルトンなどの国際的な教育再生プログラムが多く導入されている今こそ、日本の教育の強みを明確にする」という葉、さらには、大西先生の「今までの教育でも概念理解はできていたが、生徒に拠っていたところはある。そうではなく、意図的計画的に。」という言葉が印象に残っています。
- IBというフィルターを通して、今、目の前で展開されている教育を見直したり改善方法を考えたりすることも可能であると感じました。
- 貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。